

# 声

業界の

● 山梨県生花商業組合

代表理事 岡村 満氏



## 業界の現況は？

長引く経済環境の低迷に加え、流通経路の変革や顧客ニーズの多様化など生花業界を取り巻く環境は益々厳しい状況にある。

法人や個人のギフト花の需要の減少、スーパーや量販店の販売競争、少子化に伴う婚礼市場の縮小等により生花店が生き残る道は険しくなるばかりである。

一方、葬儀件数は、年々増加傾向にあるが葬儀の形は価値観やライフスタイルの変化に伴い「白木祭壇」から個人が好きだった花に囲まれた「生花祭壇」の需要が高まっている。しかし、生花祭壇は、柔軟な対応力や高い技術力が求められる。

そのため、お客様の多様化するニーズに応えるべく花束やラッピング、葬儀花等のセミナーを重ね熟練者はもちろん、若い従業員の技能向上を積極的に図っている。

## 今後の展開は？

ここ数年、組合員同志のレベルアップを強化するため技能や経営セミナーの実施に注力してきた。今後は、組合内検定制度等を設け全国大会に組合を代表して出場できるように組織強化を図っていききたい。

また、1年間に1度も花を購入しない世帯がおよそ6割あると言われている。花には様々な心理的効果を上げる役目もあるため、生活に花を取り入れてもらえるよう「花育」事業にも取り組んで行きたいと考えている。

そのためにも、時代の変化に遅れないよう日頃から高いアンテナを張って情報を収集し迅速な対応ができるよう努めていきたいと考えている。



研修風景